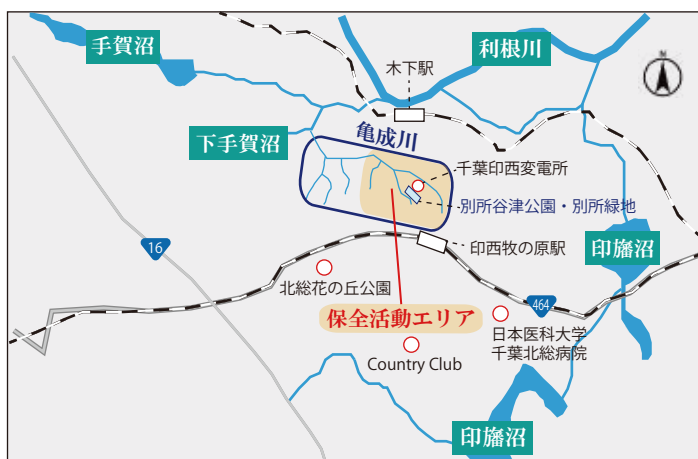


亀成川とその源流域は、首都圏にありながら、豊かな生態系に恵まれ、様々な貴重種が生息し、環境省「日本の重要湿地500」に選定されています。

今回は、地域住民・市民団体・行政・関係機関と協働し、亀成川と流域の里山生態系を守る活動に取り組んでいるNPO法人「亀成川を愛する会」について紹介します。

亀成川、別所谷津公園・別所緑地

亀成川は、千葉県印西市を流れる全長7.15km、流域面積約16.8km²の利根川水系の一級河川です。亀成川の流域には、谷津田や斜面林が広がり、ニュータウンに隣接する良好な自然環境が残されています。



印旛沼と手賀沼を結ぶ生態系ネットワークとして機能する亀成川位置図と保全活動エリア



亀成川に生息する生き物の例

亀成川の支流の一つ、古新田川の上流部は、かつては水田耕作されていた谷津が、別所谷津公園及び防災調節池を含む別所緑地として残されました。別所谷津公園及び別所緑地は、周囲が開発された今も、在来の生きものが数多く生息・生育しており、生物多様性の高い貴重な場所となっています。



別所谷津公園周辺の水辺風景



亀成川周辺の里山風景



明るい雑木林と水辺作り活動時



総会時

生き物がいっぱいの小川だった亀成川が、市街地の開発を契機に姿を変えてしまった自然環境と、外来生物によって激減した亀成川と流域の里山生態系を守る活動をしています。多様な生態系を守り、自然豊かな里山環境を後世に残すため、草刈り、樹木伐採、湿地再生、外来種の駆除、保全活動などに取組むとともに、活動を一般に広めるため、保全体験型の観察会なども開催しています。

○法人名称：NPO 法人「亀成川を愛する会」

○活動場所：亀成川・別所谷津公園水辺など

○発 足：2010 年 6 月 22 日

○定例活動日：毎週水曜日

○NPO 法人設立：2020 年 9 月 25 日

第 4 土曜日、第 1・3 日曜日

○会 員 数：約 100 名（2025.7 月現在）

《会の発足と NPO 法人設立までの経緯》

亀成川は、豊かな自然が残り、田んぼの中を流れる小川でタナゴやスナヤツメ、水生昆虫など生き物がいっぱいの川でした。

ところが、千葉ニュータウンの開発に伴い、ニュータウンに降った雨が水路から調整池を通じて川に流れ込むことになりました。そのための拡幅工事が行われ、川は底を掘られ拡幅され、兩岸の道路や水路を入れると 24m を超える川幅となりました。

この変化に、地元の住民が「このままでは亀成川の豊かな自然が失われてしまう」という危機感を募らせ、「亀成川を愛する会」が任意団体として発足しました。

活動が地域社会に認知されるにつれ、行政や学校、他団体との連携を強化していく必要性を感じるようになるとともに、本格的な河川の再生や大規模な保全活動を行なうには、資金調達や人材確保、社会的な信頼性の確立が必要となり、2020 年に NPO 法人「亀成川を愛する会」が設立されました。



工事場所の生き物の救出や、工事後の拡幅された川に土嚢を並べ、マコモを植え付け川の再生に取り組みました。

● 亀成川と流域の生態系保全



■ 亀成川あみだくじ作戦

土砂が積もり、中州が発達し急流になると魚たちが住みにくくなることから中州に水路を掘り、「あみだくじ」のように複雑な流路を作る活動を実施。



■ 生き物定例モニタリング調査

年3回、川の改修後にマコモなどを植えて再生した場所や、土水路になった場所などに生息する生き物を継続的に記録し、変化を把握しています。



■ ホタルの里クリーン作戦

ホタルが生息できる環境を守るため、清掃活動や特定外来植物（ナガエツルノゲイトウなど）の駆除、水路の整備などの活動を実施。

● 生き物いっぱい田んぼ作り

失われつつある里山生態系の再生と、地域住民が触れあう機会を創出することを目的に、単にお米を作るだけではない田んぼ作りも行なっています。

・ 生物多様性の保全と再生

田んぼは、水生昆虫、両生類、魚類にとって絶好の生息場所となり、ホタルの幼虫の餌となる巻貝の生息にも適していて、ホタルが育つ環境を整える上でも重要な役割を果たします。

また、田んぼには、多種多様な生きものが集まるため、生物観察の絶好の場ともなっています。



■ 企業ボランティアの方も参加して行なわれた田植え活動

● 別所谷津公園・別所緑地の水辺の保全



■ 明るい雑木林と水辺作り

光が差し込むことで、多種多様な水生植物が育ち、それらを餌とする生物が増加します。池を暗くしている背の高い竹や木を切ったり、落ち葉かきを行ない明るい環境を作ります。



■ 在来種を駆逐する外来生物の駆除

不法に放流されたブラックバスやブルーギル、大量に繁殖したアメリカザリガニの駆除を行なっています。また、重点対策外来種セイタカアワダチソウは大繁茂して、在来植物を駆逐するだけでなく、湿地を陸地化するため、引き抜きます。



■ 原っぱや湿地の草刈り活動

定期的な草刈りにより、様々な植物が育つ機会を与え、植生の多様性を保つとともに、川岸や水路脇等の草を刈ることで、湿地回復や水生昆虫・魚類の生息環境改善に役立ちます。



困っています!! 

コイやブラックバスなどが放流され困っています。ブラックバスなどの特定外来生物の放流は、法律違反になります。コイは、大きく成長し繁殖力も高く、なんでも食べてしまうため、在来の多様な魚類や水生生物が減少、消失してしまいます。他の生態系に影響を与える為困っています。



印西市との協働事業

『市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系事業』

印西市とNPO法人亀成川を愛する会は密接に連携し、協働で活動を進めています。

印西市は、市民活動団体が市の課題解決に貢献する事業を企画・提案し、市と協働で実施する「企画提案型協働事業」という制度を設けています。

NPO法人亀成川を愛する会の活動も『市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系事業』として認められ、印西市と共に、生物多様性調査や保全活動の改善方法の検討、市民が自然に親しむ為の自然観察会・保全体験会の開催など市と協働し活動に取り組んでいます。



自然観察会

「トンボ観察会」を兼ねた谷津の探検を実施し、専門家からの説明や、トンボ採りに挑戦



保全活動体験

ごみ拾いやセイタカアワダチソウ引抜きなど保全活動体験の実施

第36回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞

「みどりの愛護」功労者国土大臣表彰は、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績を称え、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰されるものです。

令和7年6月7日（土）に千葉県松戸市で第36回全国「みどりの愛護」のつどいが開催され、NPO法人「亀成川を愛する会」が功労者国土交通大臣賞を受賞しました。



第36回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞感謝状

会員募集

豊かな自然環境の中で身体を動かし、新しい仲間とも出会える活動です。まずは一度、気軽に参加してみたいという方も大歓迎です。草刈りや竹切、セイタカアワダチソウ引っこ抜きなど適度な運動は、心身のリフレッシュにも最適です。年齢や経験は問いません。

また、企業ボランティア也大歓迎です。年1回の活動でも構いません。是非参加してみたい方、詳しい活動日程や活動場所について知りたい方は、下記までお問合せください。

 ホームページ : <https://kamenari-love.localinfo.jp/>

 メールアドレス : kamenarilove@yahoo.co.jp

